



梅田中だより

<第9号>



地域の方々とのふれあい 梅田文化まつりへの参画

9月28(土)・29(日)の両日に開催された「梅田文化まつり」に3年生がボランティアとして、参加してきました。地域の人たちが出会い、語り合い、ふれあう場に出かけ、地域づくりに参画できればと思い取り組んできました。計画から準備にいたるまでに、「どうしたら、よりよいものになるか」をそれぞれの担当ごとに話し合い、活動してきました。

また、当日の活動においても「どうしたら盛り上げられるか」、「どうしたら喜んでもらえるか」を考え、子どもたちは、「笑顔で声がけをする」ということを答えの一つとしました。小さい子ども、お年寄り、それぞれの相手に適した言葉がけなど、一つ一つの言葉にも気を配りながら取り組んでくれました。そうすることで、実際にお客さんの喜ぶ顔が見れたり、「ありがとうね」という言葉が返ってくることで、心地よい達成感のようなものを感じたと思います。ささやかではありますが、中学生として地域づくりの架け橋となっている「梅田文化まつり」に参画し、少しでも貢献できたことをうれしく思います。世代間を超えた多様な人々との交流を通して、多くの学びと普段の学校生活では、見られない輝いた素晴らしい姿と力を目にする事ができました。



<学年行事>

1年生の足利巡り

台風の被害により、実施も危ぶまれた「足利巡り」も無事に実施することができました。同じ織都でありながら町の歴史や成り立ちも違う足利に広げ、桐生との違いを学ぶ学習としました。

事前学習では、ボランティアで足利学校の案内・解説を行っているICTサポーターに講義していただき、足利のことを学び、当日も足利学校で実際に案内をしていただきました。

班行動の練習として、1年の足利巡りー2年の東京探検ー3年の修学旅行へと発展性を考えたものです。



2年生の職場体験学習

キャリア教育(進路学習)の一環で、職場体験学習が実施されました。夏休み前から準備が進められ、職場選び、連絡、打ち合わせ等をこなしてきました。さらに事前学習では、梅田出身の建具製作部門で全技連マイスターに認定されている〇〇〇〇さんに講話をしていただき、働くことに求められていることを学びました。体験当日は、それぞれの職場で、戸惑いもあったようですが学びのあった二日間の体験だったようです。



生徒会新体制の発足

生徒会本部役員の変更が行われ、新体制が発足し、後期の生徒会活動が始動しました。それぞれの言葉には、「全校生徒のために 積極的 全力 責任 実行力 明るい梅田中づくり」という意気込みが込められています。よりよい梅田中に向け、よろしくお願いいたします。

会長	みんなが、有言実行できる学校にしたい。
副会長	みんなのためになるよう一生懸命取り組みます。
副会長	一人一人がよい学校生活を送れるようにしたい。
書記	精一杯頑張ります。自分自身も成長したい。
会計	積極的に学校をよりよくしていきたい。

理科学習発表会

10月10日(木)に市中学校理科学習発表会が市民文化会館で行われました。本校からは、「酸化と還元を調べる」を行った〇〇〇〇君と「おいしい水、見つけた!」の研究を行った〇〇〇〇さんが発表してくれました。

〇〇君は、理科の授業で酸化と還元について学習したことから、身近な液体や調味料による還元を調べたものでした。

〇〇さんは、東北に旅行に行った際に、きれいな水と出会い水に興味を持ちました。梅田の水道水、井戸水、龍泉洞の飲料水、浄土ヶ浜の海水の違いを分析し、おいしい水について複数の観点から調べたものでした。二人のこの発表については音楽祭の時にも行う予定です。

「ありがとう」の葉で少しずつ 大きな木(気)に成長してきました

前の生徒会が企画・準備してくれた「ありがとうの木」が、子どもたちの温かな言動とそれを認め、感謝する気持ちで、いっぱいになってきました。最初は、体育祭をきっかけにして、取り組ませていましたが、今では、やらされているのではなく生徒自ら取り組み、友達の良さを書きに来てくれています。もっともっと大きな木(気)に育ってほしいと願います。



ラグビー憲章の5つの言葉より

「品位」「情熱」「結束」「規律」「尊重」

ラグビーワールドカップでは、日本代表の活躍や各国の心温まる言動が感動を呼び大きな話題になっています。以前から、ラグビーに関わる言葉で、「one for all all for one」や「ノーサイド」などという素晴らしい言葉がありますが、その根底を流れているものに、競技規則やルール以前に大切にしているラグビー憲章で示されている5つの言葉があります。目新しい特別な言葉ではありませんが、日本代表の選手のプレーと重ねてみたときに、言葉の意味の深さが伝わってきます。

この5つの言葉は、自分が所属している集団の様子や取り組んでいることがうまくいっていないときなど、自分のしていることを見つめ直すよい観点になるのではないかと思います。

「品位」: 誠実 正直 自分をコントロールする自制心

体と体が激しくぶつかり合うスポーツだからこそ試合中にも品位がある行動が求められるし、普段の生活でも心がけるべきもの。

「情熱」: 情熱的な熱意は、本気さが伝わり、そのことで興奮を呼び、愛着を誘い、グローバルなラグビーファミリーへの帰属意識を生む。

「結束」: 志を同じくするものが、一つにまとまること。チームが団結力を持つには、結束の強さが大切。

「規律」: チームワークとは、みんなで決めたことを守り、練習したとおりに仲間を信じて助け合ってプレーすること。それが規律。規律を守れる人がいてこそチームワークは、発揮される。

「尊重」: 相手の立場を尊重する。

チームメイト、相手チーム、レフリー団など試合に参加する人それぞれの立場を考えること。